年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号		技術部門	部門
●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題	番号の	選択科目	
闌は必ず記入すること。		専門とする事項	

問題番号 III-解答する問題番号(1又は2)を点線の枠内に必ず記入すること。 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。 な 課 題 多 的 面 か 機 能 لح 美 観 を 調 和 す る か 1 い に 我 が 玉 は 都 市 計 法 基 づ < 用 途 地 域 制 度 の 都 市 画 に IJ 機 能 的 に 整 備 さ れ て き た 方 で 景 観 は 地 域 に ょ تع 史 環 様 要 の 歴 ゃ 文 化 自 然 境 な 多 な 素 か ら 成 IJ 立 ち • 的 な ゾ グ で 再 開 発 ゃ 大 規 模 築 IJ 画 は 建 に ょ 調 和 な い ケ ス が あ る そ の た 用 途 ഗ 多 様 性 ح し め 0 観 的 秩 序 の 両 立 が 求 め ら れ る て 都 市 環 境 の 景 ょ つ 能 が 課 題 観 点 か ら 機 لح 美 観 調 和 で あ の る 0 2 か 空 間 を 最 す か い に 構 成 適 化 る 玉 で 機 近 年 立 地 適 正 化 計 画 ഗ 導 入 が 全 進 4 都 市 が 能 の 集 約 土 地 利 用 の 見 直 加 速 し て る の ょ ح し い こ 0 空 用 景 構 造 ゃ 間 う な 土 地 利 の 変 化 は 固 有 の 観 的 連 続 質 が 性 を 分 断 し 都 市 景 観 の 的 低 下 を 招 < 恐 れ あ る 0 持 続 可 能 な 景 観 形 成 の 実 現 に は 土 地 利 用 の 誘 導 ح 規 制 を じ た 空 間 構 成 再 編 が 重 要 で 土 通 の あ る ょ つ て 0 化 利 ഗ 観 空 間 構 成 ഗ 最 適 を 义 る 統 合 的 な 地 用 点 か ら が ジ 課 題 ネ メ ン ۲ で あ る 0 進 3 い か に D Χ 化 を 推 す る か ۲ 響 体 限 人 減 少 な の 影 に ょ て 地 方 自 治 で は ら つ れ た 人 材 で 景 観 行 政 を 推 進 す る 必 要 が あ る 従 来 ഗ 労 0 集 約 な 観 誘 獐 で は 対 が 木 難 لح な IJ つ そ 働 景 応 つ あ る ゃ 都 Ŧ デ を 活 用 務 効 の た め Ι С Т 3 D 市 ル し の が 率 化 لح 景 観 形 成 支 援 の 度 化 求 め ら れ て い る ょ 高 つ 0

の

観

点

か

ら

D

Χ

化

の

推

進

が

課

題

営

て

都

市

運

あ

る

で

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答	答欄の	記入は	t, 1 ¬	スに	つき 1	文字と	:するこ	こと。	なお、	英字	・数字	は1つ	アスに	2 文字	を目的	ととす	る。						
2		最	ŧ	重	要	な	課	題	٢	解	決	策	_										
	住	民	の	地	域	^	の	愛	着	を	高	め	•	持	続	可	能	な	地	域	活	性	化
を	実	現	す	る	た	め	Γ	い	か	ΙΞ	機	能	٢	美	観	を	調	和	す	る	か	L	を
最	ŧ	重	要	な	課	題	に	選	定	し	`	以	下	に	解	決	策	を	述	べ	る	o	
_(1)	_ デ	ジ	タ	ル	ッ	1	ン														
	景	観	形	成	に	お	け	る	合	意	形	成	σ)質	[き	· i	5 &)	5 <i>t</i> .	- &	5,	(3 D
都	市	Ŧ	デ	ル	を	活	用	し	•	建	物	の	高	さ	ゃ	影	の	影	響	を	可	視	化
す	る	景	観	シ	Ę	ュ	レ		- ٤	/ =	3 2	, i	を :	行	う	o	例	え	ば	`	L	0	D
1	•	2	の	建	物	情	報	か	b	3	D	景	観	を	作	成	す	る	0	加	え	て	`
眺	望	検	証	機	能	ゃ	高	さ	•	色	彩	の	変	更	機	能	を	備	え	る	0	٦	れ
ΙΞ	ょ	IJ	•	高	さ	制	限	な	ど	の	規	制	確	認	が	容	易	に	す	る	ع	ځ	ŧ
ΙΞ	`	視	点	場	の	指	定	ΙΞ	ょ	っ	て	•	人	間	の	可	視	•	不	可	視	範	囲
တ	把	握	を	可	能	ΙC	す	る	o	٦	の	機	能	を	用	い	る	٦	ځ	で	`	景	観
協	議	に	お	い	て	影	響	範	囲	を	直	感	的	に	共	有	で	き	`	周	辺	環	境
ح	の	調	和	を	重	視	し	た	合	意	形	成	が	促	進	さ	れ	る	0				
_(2)	_ <u>グ</u>	IJ	_	ン	1	ン	フ	ラ													
	都	市	空	間	ΙΞ	お	け	る	緑	の	面	的	連	続	性	بح	`	環	境	性	の	向	上
を	図	る	た	め	`	建	築	計	画	段	階	か	6	屋	上	や	壁	面	^	の	緑	化	を
組	み	込	み	•	都	市	空	間	に	グ	IJ		ン	1	ン	フ	ラ	を	ビ	ル	١	イ	ン
す	る	設	計	手	法	を	推	進	す	る	0	具	体	的	に	は	•	屋	内	外	の	空	間
で	連	続	的	ΙC	緑	を	配	置	す	る	バ	1	オ	フ	1	IJ	ッ	ク	デ	ザ	1	ン	を
導	入	し	•	都	市	空	間	ے	緑	地	機	能	の	調	和	を	図	る	0	٦	れ	ΙΞ	ょ
IJ	`	都	市	景	観	の	質	的	向	上	ΙΞ	加	え	•	遮	熱	効	果	ΙΞ	ょ	る	省	エ
ネ	化	ゃ	温	室	効	果	ガ	ス	တ	吸	収	`	居	住	者	の	ゥ	エ	ル	Ľ	_	イ	ン
グ	向	上	な	ど	の	相	乗	効	果	ŧ	期	待	で	き	る	0							

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解名	学欄の	記入は	. 15	アスに	つき 1	文字と	する:	こと。	なお、	英字	・数字	は1、	マスに	2 文字	を目録	ととす	る。						
_(3)	Α	I	ΙΞ	ょ	る	景	観	評	価	_											
	景	観	検	討	に	お	け	る	È	観	的	印	象	の	偏	IJ	を	補	い	`	客	観	的
な	イ	メ	_	ジ	共	有	ے	合	意	形	成	を	仮	進	₫ す	- 3	5 <i>†</i> .	= &) ,	A	I	を	活
用	L	た	景	観	評	価	手	法	の	導	入	が	有	効	で	あ	る	o	そ	の	た	め	
深	層	学	習	Ŧ	デ	ル	を	用	い	て	景	観	画	像	の	色	彩	構	成	ゃ	緑	視	率
印	象	評	価	な	۲	を	数	値	化	し	`	定	量	的	な	評	価	を	行	う	0	さ	ら
に	`	景	観	協	議	の	場	で	は	`	生	成	A	I	ΙΞ	ょ	IJ	意	見	を	即	時	1=
ビ	ジ	ュ	ア	ル	化	し	`	色	l 采	! †	5 柞	講	戎 (တ	変	更	案	を	提	示	す	る	0
ΡL	ΑT	ΕA	U	の	3	D	都	市	Ŧ	デ	ル	٢	連	携	す	れ	ば	•	現	実	の	都	市
空	間	を	反	映	し	た	高	精	度	な	景	観	シ	3	ュ	レ		シ	∃	ン	が	可	能
ع	な	IJ	•	説	得	力	あ	る	景	観	設	計	ځ	円	滑	な	合	意	形	成	が	促	進
さ	れ	る	0																				
<u>3</u>	•	新	t:	な	IJ	ス	ク	ځ	対	応	策												
	マ	=	ュ	ア	ル	化	さ	れ	た	景	観	整	備	に	ょ	つ	て	`	画		的	な	/ °
タ		ン	配	置	を	助	長	L	•	空	間	の	単	調	化	を	招	<	IJ	ス	ク	が	生
じ	る	0																					
	対	応	策	ځ	し	て	•	パ	ラ	メ	١	IJ	ッ	ク	デ	ザ	1	ン	を	ラ	ン	ド	ス
ケ		プ	設	計	ΙC	応	用	す	る	٦	ے	で	•	環	境	条	件	に	応	じ	た	有	機
的	か	つ	多	様	な	緑	地	空	間	の	創	出	を	図	る	0	例	え	ば	`	L	i	D
Α	R	等	で	取	得	し	た	地	形	デ		タ	を	ŧ	ځ	に	•	日	照	•	通	風	•
傾	斜	な	ど	の	環	境	要	素	を	数	値	/ °	ラ	メ		タ		ے	し	て	設	定	し
植	栽	の	種	類	や	配	置	密	度	`	樹	高	な	ど	を	動	的	に	最	適	化	す	る
٦	れ	に	よ	IJ	`	複	雑	な	地	形	ゃ	自	然	条	件	に	即	し	た	柔	軟	な	設
計	が	実	現	し		空	間	に	多	様	な	光	環	境	や	視	覚	的	変	化	を	ŧ	た
'n	す	景	観	形	成	を	可	能	ے	す	る	0		以	上								